

会 議 録

会議の名称	第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会
開催日時	令和4年7月19日（火） 午後2時00分開会・午後3時30分閉会
開催場所	深谷市役所 本庁舎3階 大会議室
議長氏名	岩崎 行雄
出席者氏名	別紙のとおり
会議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 再編検討施設について (2) 存続とする施設について (3) 検討施設について 4 その他 5 閉会
会議の経過 (議事の要旨)	別紙のとおり
会議資料	<p>【本日配布の資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討資料 ・資料2 再編事例と2次計画の再編施設 ・資料3 再編施設の概要 <p>【第2回会議配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回第2次深谷市公共施設適正配置計画 検討資料 <p>【第1回会議配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1. 第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会設置要綱 ・資料2. 第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会委員名簿 ・資料3. 第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会の公開について ・資料4. 第2次深谷市公共施設適正配置計画策定の推進体制 ・資料5. 第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会開催日程及び協議概要 ・資料6. 深谷市公共施設適正配置基本方針 ・資料7. 深谷市公共施設白書 ・資料8. 深谷市公共施設等総合管理計画・深谷市公共施設適正配置計画 ・資料9. 第2次深谷市公共施設適正配置計画の策定について ・資料10. 深谷市公共施設データ及び解説
その他の事項	

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
司会	1 開会
司会 委員長	2 あいさつ 岩崎委員長よりあいさつ
司会	3 議事 要綱の規定により、委員長が議長となり議事を進行。
議長 事務局	(1) 再編検討施設について 第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討資料の議事(1)再編検討施設について、事務局より説明し、内容について協議。
議長	◆事務局説明に対する質疑の確認 議事(1)再編検討施設についての事務局説明に対する質疑の確認
委員	3ページにある、「④機能面は民営化又は廃止、建物面は民営化又は廃止」の中にある「ふかや緑の王国」は、収入が期待できる施設ではないので、民営化というのは考えにくいと思うが。
事務局	内容については、民間事業による高齢者福祉施設による活用なども考えられ、庭については、現在活動しているボランティアなどによる維持管理ができれば、民間による活用もできるのではないかと考える。
委員	再編検討施設15カ所の説明を伺ったが、再編後の跡地活用はどうなっているのか。白紙状態なのか。活用を考えなくてよいのか。
事務局	跡地活用について考えてはいるが、まだ施設が廃止されていない状況で、活用案が先に進んでしまうのは基本的に避けたく、具体的にお伝えできない。なお、施設の廃止後は、財産活用検討フローにより跡地活用を進めることとなっている。 なお、上柴コミュニティーセンター、くれよんかんは、地元の活用を優先的に考えて行きたいが、情報の先行は避けたい。
委員	わんぱくランドの管理棟は耐震性がないので解体となっているが、シルバー人材センターの扱いはどうなるのか。
事務局	シルバー人材センターには移転してもらおう考えで、今後検討していく。移転先の考えはあるが、お伝えできない。

委員	<p>今回集約する施設は、主に貸館施設で一部遊園地などもあるが、大方が、新岡部公民館や、川本複合施設への集約となるようだが、集約する施設のキャパシティは問題ないのか。</p> <p>また、公民館機能もそうだが、体育施設の民間活用など、指定管理者制度による運営も結構あると思うが、市としてそういった方向性の考えはあるのか。</p>
事務局	<p>公民館自体の稼働率は、さほど高くない状態であり、集約される施設が含まれても問題ないと考える。</p> <p>指定管理者制度は市として取り入れており、市の総合体育館は、隣接する「わんぱくランド」と併せて指定管理制度で運営している。公民館に関しては、営利利用が可能となった運営などを踏まえ、今後考えて行く必要がある。</p>
委員	<p>公民館は昔のような貸館だけの運営でなく、少子高齢化の中で、地域コミュニティを司る中心的施設として非常に有効となってくるので、そのような視点でいろいろな工夫をして行っていただきたい。</p>
委員	<p>わんぱくランドは深谷テラスパークへ集約となっているが、シルバー人材センターも同時に移転となるのか。</p>
事務局	<p>シルバー人材センターは別の場所への移転を考えて行く。</p>
委員	<p>川本サングリーンパークに農村伝統継承館があるが、どこか移転先があるのか。</p>
事務局	<p>現在、移転先は考えていない。希望があれば、希望者負担にはなるが移築も考えられる。なお、「川本サングリーンパーク」については、約80パーセントが借地であるため、施設については、全て撤去しての返却になる。</p>
委員	<p>削減効果のところ、資料2の新岡部公民館への集約効果による削減効果額が23.6億円で、川本複合施設は削減効果額が13.2億円と少ないが理由を聞きたい。</p> <p>また、資料1の3ページで、案として出ている計画の削減目標10.7%、削減面積37,400㎡は、1次計画の達成率が目標を下回った実情を踏まえたものだと思うが、2次計画終了で目標の半分、さらに計画が進めば達成が難しくなる傾向がある中で、2次計画での目標10.7%が、トータルの25%を見据えて妥当なのか見解を聞きたい。</p>
事務局	<p>削減効果としては、川本農民センター、川本農村婦人の家、川本農業者総合地域施設の運営費が岡部の再編施設の運営経費に比べて小さいこと。また、削減効果額は、再編したときから総合管理計画の最終年で試算しているため、再編した時期が早ければ、削減効果額は大きくなる。このため削減効果額に</p>

	<p>については、既に再編済みである新岡部公民館のほうが大きい。更に新たに建設した建設費と建物にかかる維持管理費を差し引きして試算しているため、新岡部公民館と比較すると川本複合施設は建設費や維持管理費が多額になると見込まれるため、削減効果額が低くなっている。</p> <p>10.7%の妥当性だが、総合管理計画で示している25%の削減は厳しいものと考えている。2次計画は再編方針に基づき、再編が可能な施設を対象とした。対象となる施設は、施設規模が比較的小さいため1次計画及び2次計画で10.7%の削減となるが、検討資料5ページのとおり更新費用の削減効果からは、約50%を達成することができることをから、事務局としては妥当と考える。なお、2次計画の再編対象となる施設は、地域に密着した施設でもあり、再編を進めて行くのは非常に厳しいところもある。</p>
委員	削減効果額は、新しい施設の建設費用等を差し引いたものなのか。
事務局	新岡部公民館など、建設費用や維持管理費を含めて差引した削減効果額としている。
委員	明戸保育園、川本保育園の民営化は、本当に安心している。一般的に保育園に子供を預ける場合、自宅又は職場に近いところを選ぶことが多い。できれば、保育園や学童保育と言った、身近にある子供のための施設は、民営化は問題ないが、廃止はしないしてほしい。
事務局	保育園は民営化を進め、学童保育室については、次の議題にもなっているが、存続で考えて行く。
委員	川本サングリーンパークと同様にわんぱくランドがあるが、管理棟以外の園地については、川本サングリーンパークと同様に、深谷テラスパークや幼稚園・こども館複合施設に移設となるのでいいか。
事務局	園地を含む、わんぱくランド全体を廃止と考え、深谷テラスパークや幼稚園・こども館複合施設への集約を考えている。
議長	他に質問が無いようですので、議事の(1)再編検討施設については、事務局説明のとおりとすることによろしいでしょうか。
委員	異議なし
議長	それでは、議事の(1)再編検討施設については、事務局説明の内容で決定いたします。
議長	ここで一時休憩とします。

議長	<p>(2) 存続とすることについて、(3) 検討施設について</p> <p>第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討資料の議事(2)存続とする施設について、(3)再編施設について、一括して事務局より説明し、内容について協議。</p>
議長	<p>◆事務局説明に対する質疑の確認</p> <p>議事(1)再編検討施設についての事務局説明に対する質疑の確認</p>
委員	<p>2次計画の中では、小中学校、公民館は存続となっているが、3次計画で小中学校や幼稚園の統廃合を検討するとなっている。特に小中学校の統廃合に関する基準はあるのか。</p>
事務局	<p>まず基準ですが、平成27年1月27日に文部科学省から、「公立小学校中学校の適正規模、適正配置等に関する手引き」というものが示されており、教育的な観点から、社会的な自立の基礎や社会の形成者としての基本的資質を養うために、12学級以上、18学級以下が標準とされている。小学校であれば6学年ですので2～3クラス、中学校は3学年ですので、1学年で4～6クラスが文部科学省から示されているため、これが一つの目安となっている。</p>
委員	<p>明戸地域に関しては、小中学校は1学年1クラスで推移している。保育園は民営化となっているが、幼稚園は最近地域からなくなっている。</p> <p>1学年で4クラスとかになると、明戸地域から小中学校がなくなってしまうと考えるが、深谷市内でこの基準に該当する学校はいくつも無いのではないか。</p>
事務局	<p>委員のご意見はもつともであり、当然これらは大きな再編である。今回説明した、(3)検討施設については、児童生徒数の将来の推移など、3次計画に向けての諸条件を確認するもので、3次計画の中で、具体的なアクションをすぐに起こすものではない。</p> <p>現在、2次計画に向け審議いただいているが、将来の人口動向、子供、高齢化の状況といった、国、県等の諸データを参照しながら、状況をしっかりと整理をし、将来を見据える対応に向けた問題提起という形で、2次計画の期間内ではできるところは内部で検討していく。委員がおっしゃる具体的な地域についてのアクションは、当然、市長や議会と最終的に協議をする内容となるので、そこは慎重に取り扱って行きたい。</p> <p>また、公民館、あるいは学校については、地域コミュニティの核となる施設ということはしっかりと認識している。そういった中で、複合化や民営化が、できるところをまずは進める。一方将来的には、定住や移住といったことも市政として取り組み、全体のバランスを見ながら進めて行きたいと考える。</p>
委員	<p>川本地区も同じような状況となる、市全体としてお願いしたい。</p>

委員	<p>大寄地区も明戸地区と同様で、中学校は深谷地区へ統合され、幼稚園もなくなり、小学校は分校になってしまうような規模であるが、事務局の説明で考え方は理解できた。ただし、3次計画に関して、今の状況で少子化が進むようであれば、移住などもあるようだが、少し計画を前倒しするなどして、良い方向へ持って行っていただくようお願いしたい。</p>
事務局	<p>自治会での市長と語る集いなどでは、明戸地区や大寄地区の少子高齢化についての質問や学校関係のご質問も出ており、地域の皆様としっかりと向き合い、お互いに話し合うことで、地域の活性化、あるいは市政全体の活性化に取り組んでいきたいと答弁しているが、具体的な成果がなかなか見えないところもある。常に市全体を見ながら、その活性化が各地域にしっかりと浸透するような取り組みを行っていききたいと考える。一方で少子高齢化が進んでいるのは事実であり、これらについてしっかりと理解いただき、納得感のある形で進めていきたい。</p>
委員	<p>大寄中学校が深谷中学校に統合になったが、今現在、生徒は通学に大変な思いをしているのか、それとも市としてバスなどの交通手段を加味して統合しているのか。自転車通学もあるが、中学校によっては通学に40分以上かかる地域もあると聞いている。中学生であれば我慢の範囲かもしれないが、大変な負担ではないか。3次計画では、多くの地域で統合が行われるのであれば、通学時間が相当かかるということも含め、バスなど、交通手段も視野に入れながら検討していただきたい。</p>
事務局	<p>登校距離については小中学校で示されており、小学校で4キロ圏内、中学校で6キロ圏内となっている。小学校で4キロを超えるのは藤沢小学校と幡羅小学校、6キロを超えるのは藤沢中学校となる。地域によっては朝6時半には家を出るとか、冬場は暗い時間帯に通学する状況もあると聞く。場合によっては、別の学校のほうが近い状況などもある。40年前と今では状況が違うが、交通手段に関しては当然考えなければならないと思われる。もちろん全国的に避けて通れない問題だと認識しており、近隣でも、バスなどの交通手段による対応の話も伺っている。やり方については、地域と対話しながら進める形になると思うが、今後の状況にもよるところである。</p> <p>また、防犯、あるいは安全対策に関しては、小中学生に限らず、市民皆様の安全安心な暮らしの観点で行わなければならないと考えている。通学バスの関係についても、将来的な再編検討の中で取り上げられてくる課題ですので、それらを十分に踏まえ、今後に備えていきたいと考える。</p>
委員	<p>1次計画で未達成な部分があるが今後の取り扱いはどうなるのか。</p>
事務局	<p>1次計画で未達成の部分は2次計画と併せて進めて行く。</p>
委員	<p>市営住宅に関してですが、上柴、緑ヶ丘の市営住宅は、廃止を視野に入れて</p>

	<p>検討とあるが、今後、市営住宅は廃止して行く方向なのか。残っている、新井、戸森、宿根は残していくのか。</p>
事務局	<p>鉄筋コンクリートの住宅は耐用年数70年となっており手が付けられない、新井市営住宅は木造で耐用年数30年となり、それぞれ、今すぐ廃止する施設としては考えていない。</p> <p>上柴と緑ヶ丘の市営住宅は、2次計画期間が終了すると70年の耐用年数が経過するため廃止を考えながら、家賃補助制度による民間アパートの活用なども検討して行く。</p>
議長	<p>他に質問が無いようですので、議事の(2)存続とする施設、(3)検討施設については、事務局説明のとおりとすることによいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>それでは、議事の(2)存続とする施設、(3)検討施設については、事務局説明の内容で決定する。</p>
議長	<p>以上で、本日の議事はすべて終了した。議長の職を解かせていただく。</p>
司会	<p>4 その他</p> <p>今回の会議において、全ての施設の再編方針が決定したので、予定していた8月2日の会議日程は開催しないこととする。</p> <p>第4回の会議日程について</p> <p>日時 令和4年8月23日(火) 午後2時00分から</p> <p>場所 深谷市役所 本庁舎3階 大会議室</p> <p>で開催。</p>
司会	<p>5 閉会</p> <p>以上をもって、第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会を終了とする。</p>

第3回第2次深谷市公共施設適正配置計画検討委員会出席者名簿

【出席委員】

荒井 康子 委員
飯塚 勉 委員
飯塚 富美男 委員
岩崎 行雄 委員
栗原 宏義 委員
清水 佳子 委員
力石 琢磨 委員
南 絹代 委員
以上8名

【欠席委員】

小池 良司 委員
以上1名

【事務局】

吉岡 和弘 (企画財政部長)
前野 武一 (企画財政部次長兼ICT推進室長)
及川 勝隆 (企画財政部次長兼財政課長)
葺塚 貴光 (企画財政部公共施設改革推進室長)
大野 忠憲 (企画財政部公共施設改革推進室長補佐兼公共施設改革推進係長)
小暮 悟史 (企画財政部公共施設改革推進室)
橋本 裕子 (企画財政部公共施設改革推進室)